

六郷 地区社会福祉協議会

更新日：令和6年6月1日

1. 地域情報

圏域	(主な町名) 飯田字, 井土字, 今泉字, 今泉1丁目~2丁目, 沖野, 沖野1丁目~7丁目, 上飯田字, 上飯田1丁目~4丁目, 三本塚字, 下飯田字, 種次字, 日辺字, 藤塚字, 二木字, 六郷				
	(連合町内会) 六郷地区連合町内会 (学区) 六郷小学校, 沖野小学校, 沖野東小学校, 六郷中学校, 沖野中学校 (地域包括支援センター) 沖野, 六郷地域包括支援センター				
人口※1	26,570人	高齢者数 ※1	7,776人	高齢化率※1	29.27%
世帯数※1	11,811世帯	未就学児数※1	1,184人		
地区の概況	<p>仙台バイパスの東、霞の目飛行場の南から、東端は井土・藤塚で太平洋に面しており、主要道路井土・長町線が東西を繋いでいる。沖野、日辺、今泉、飯田、二木、種次の旧六村に三本塚、二浜(井土浜、藤塚浜)を加えた地域で、田園風景と市内のビル群、背景の山々が一望できる景観にすぐれた地区である。市街化区域に編入された地域は宅地化が進んでおり、農業に携わる方を中心にした住民と、新しく転入してきた住民とが一緒に住み、コミュニティ活動が盛んである。</p> <p>津波により甚大な被害を受けた東六郷地区には、「若林消防署六郷分署」(平成29.4)の運用、東六郷小学校閉校(平成29.3)、跡地には六郷東部地区地域モニュメント(平成31.3)、東六郷コミュニティ広場(令和3.3)が整備された。3月の「鎮魂の花火」は、ふるさとのにぎわい再生を目指し、毎年取り組まれている。仙台東部道路(仙台若林JCT)、仙台南部道路(今泉IC)と東部復興道路(かさ上げ道路)が地区内を走り、津波減災の機能を果たしている。津波避難施設の整備や集団移転跡地利活用事業、海岸林等の再生が進められている。</p>				
地域資源 (関係団体、施設、連絡会等)	単位町内会	沖野沢田町内会, 沖野館町内会, 沖野中柵町内会, 沖野中河原町内会, 沖野三ツ橋町内会, 沖野横堀東町内会, 沖野横堀西町内会, 上飯田第一町内会, 上飯田西町内会, 上飯田中央町内会, 上飯田大町町内会, 上飯田南町内会, 下飯田町内会, 日辺町内会, 今泉町内会, 二木町内会, 三本塚町内会, 種次町内会, 井土町内会, 沖野やよい町内会, 仙台中野公団自治会, 久保田東町内会, 六郷市営住宅自治会			
	地域活動団体 (町内会除く)	六郷地区民生委員児童委員協議会, 六郷赤十字奉仕団, 六郷地区共同募金会, 六郷地区児童福祉協議会, 仙台市若林消防団六郷分団, 六郷地区女性防火クラブ, 沖野地区女性防火クラブ, 仙台南地区六郷地区防犯協会, 仙台南地区交通安全協会六郷支部, 仙台市南地区交通指導隊六郷分隊, 老人クラブ(12団体), 体育振興会(六郷小・沖野小・沖野東)			
	NPO ボランティア団体	ひまわり会, 宮城県認知症グループホーム協議会,			
	高齢者関係施設等	六郷地域包括支援センター, 沖野地域包括支援センター, 仙台市沖野デイサービスセンター, デイサービスセンターすだちの里, アイケアデイサービスセンター, 憩いの園, デイサービスオリカ, デイサービスセンター六郷の杜, 財団法人宮城厚生協会若林デイサービスセンター, デイサービス憩いの園すみれ, 萩の風ライフの学校・萩の風キャンパス, ハートフル仙台, アイケアサービス仙台(柵そらの苑), 住宅型有料老人ホーム憩いの園, はくれい, 憩いの園さくら, グループホームすだちの里, 結里, 包括ケアステーションソエル, 沖野老人福祉センター, なつぎ塾, ジーマーブル, 福祉サポート仙台東, ライフの学校・六郷キャンパス			
	障がい者関係施設等	仙台市上飯田たんぼぼホーム, みのり, めぐみ, わ・は・わ沖野, つどいの家コペル, スポーツ若林, ライフの学校・萩の風キャンパス, ライフの学校・六郷キャンパス			
	子供関係施設等	沖野保育所, 上飯田保育所, ろりぼっふ保育園, 上飯田くるみ保育園, 沖野児童館, 沖野マイスクール児童館, 六郷児童館, 六郷保育園, 冒険あそび場せんだい・みやぎネットワーク, ライフの学校・六郷キャンパス			
	教育機関	六郷小学校, 沖野小学校, 沖野東小学校, 六郷中学校, 沖野中学校, 宮城県仙台東高等学校, ドリーム幼稚園, 六郷幼稚園, ロリポップ幼稚園			
	市民利用施設	六郷行政サービスセンター, 六郷保健センター, 今泉運動場, 六郷市民センター, 沖野市民センター, 沖野コミュニティ・センター(コミュニティ防災センター併設), 東六郷コミュニティ・センター			
	その他	若林消防署六郷分署, 若林警察署六郷交番			

※1 令和6年4月1日現在の「仙台市町名別年齢(各歳)別住民基本台帳人口」の町名ごとに集計されているデータを、その町名を主に活動圏域とする地区社協ごとに累計したものです。詳細な地区社協活動圏域(街区符号・住居番号)による累計ではありません。

六郷 地区社会福祉協議会

2. 地区社協の体制

結成年月日	昭和・平成 43 年 12 月 15 日			
社協会員数	6,373 名（普通会員数 6,373 名、特別賛助会員数 0 名）※令和 5 年度実績			
会 長	氏 名	石 黒 康 二	就任年月日	令和 5 年 4 月 20 日
	兼務の状況	今泉町内会会長		
組織体制	(役員体制) 会長 1 名, 副会長 2 名, 監事 2 名, 庶務 1 名, 会計 1 名, 地域福祉活動推進員 1 名, 理事 21 名, 評議員 23 名 (活動者) 88 名 (活動者呼称) 福祉委員			
主な活動拠点	有→	(名 称)		
	無→	(主な活動場所) 市民センター, コミュニティセンターなど		

3. 小地域福祉ネットワーク活動

推進体制の概要	各町内会長と民生委員児童委員、福祉委員を中心に活動を展開している。		
会議・研修	役員会（年 6 回＋臨時役員会）,福祉委員研修会（年 2 回）		
活動の概要 (令和 5 年度 実 績)	安否確認活動	生活支援活動	サロン活動
	実施対象世帯 (実数)	実施対象世帯 (実数) ※2	実施回数
	890 世帯	454 世帯	159 回
	(内訳) 一人暮らし高齢者世帯 346 世帯 日中独居高齢者世帯 215 世帯 高齢夫婦世帯 175 世帯 その他の高齢者がいる世帯 0 世帯 障がい者のいる世帯 69 世帯 子供のいる世帯 69 世帯 その他の世帯 16 世帯	(内訳) 一人暮らし高齢者世帯 186 世帯 日中独居高齢者世帯 96 世帯 高齢夫婦世帯 107 世帯 その他の高齢者がいる世帯 0 世帯 障がい者のいる世帯 29 世帯 子供のいる世帯 31 世帯 その他の世帯 5 世帯	延べ参加数 2,318 人 (対象) <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て中の親(子) <input type="checkbox"/> 子ども <input type="checkbox"/> その他 ※定期的に開催しているサロン等は、別紙「主なサロンの開催状況一覧」参照
実施回数(延べ)	実施回数(延べ)		
2,309 回	1,170 回		
主な支援内容	主な支援内容		
〔訪問、電話、見守り、その他〕	〔買い物、掃除、外出・病院付添い、簡単な用足し、日常生活などの相談、認知症などの相談〕		

※2 生活支援活動の実施対象世帯数は、下半期（10月～3月）における実績。

4. 広報など

広報紙等	広報紙の名称	六郷社協だより	発行頻度	年 1 回 6 月
	発行部数・配布方法等	11,000 部発行（地区内全戸配布）		
	その他の広報	行事チラシ（町内会回覧版）		

5. その他の活動

<p>活動・取組 みの概要</p>	<p>今年度は、初めての試みとして、福祉委員研修会を2回実施した。1回目は基礎研修会、2回目は移動研修会として、福祉用具展示室の見学を行った。また、ともまち助成金を利用し、昨年度までの「健康アップ交流会」の内容を拡大し、福祉委員の人材育成とスキルアップ及び、一般の方々のフレイル予防を目指した、「健康アップ交流会 III」も開催場所を2か所から3か所に増やして実施した。</p>
-----------------------	---

6. 地区社協活動の特徴

<p>令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」となった。それを受けて各町内会の活動も活発化してきている。サロン活動については、20町内会と1自治会で、23グループが行い、「通いの場」も六郷児童館、沖野児童館で2・3つつ増えている。ひまわり会の配食ボランティアも、従前どおりの回数にもどり、配食月以外のヤクルトお届けと共に、安否活動を行っている。</p> <p>また、従前の内容を拡大して実施した「健康アップ交流会 III」（ともまち助成金事業）も、今まで行ってきたバレー、ボッチャに加え、卓球バレーを行い、それぞれ好評であった。その後、各サロンで、ボッチャ、卓球バレーが行われ広がりを見せている。</p> <p>2回に増やして実施した福祉委員研修会は、参加者も多く好評だった。1回目の基礎研修では、他地区の内容や同じ悩みなど共有できた。二回目の福祉用具展示室の移動研修では、用具の進化に驚きの声が聴かれた。いずれもこのような機会を多く設けてほしいとの声が多くあり、継続していきたい。</p>
